令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1	当初	事項	科学技術振興事業費								予算主管課	総合政策課
	事業概要	概要	県科学技術振興指針の策定を受け、科学技術行政を総合的に推進するために設置した科学技術振興会議を運営し、本県における科学技術振興への総合的、多面的な取組みを進める。								始期	2001
			終期									
	K P I	K P I	科学技術振興会議評価専門部会における研究課題事前評価の件数									
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
				R 4 年度	目標値	21 件	目標値	22 件	目標値	23 件	目標値	24 件
			実績値	20 件	実績値	12 件	実績値	14 件	実績値	件	実績値	件
			ストック/フロー	フロー	達成率	57.14 %	達成率	63.6 %	達成率	%	達成率	%
	コスト	コスト	最終現計 予算額	1,444 千円	最終現計 予算額	1,444 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	654 千円	決算額	792 千円	決算額	千円	決算額	千円		
6 年 度	要因分析	<p>要因 本事務事業のKPIについては、各試験研究機関における研究予算や研究課題の多寡にも依存するものであり、各試験研究機関が当該年度の研究課題の選定を行った結果として、未達となったもの。</p> <p>総括</p>										
		見直し方向性	維持	<p>本県における科学技術の振興に向けて、その進捗管理を行うとともに、県民・産業界のニーズ的確な把握、県民への説明責任の確保、評価結果の反映による高度な試験研究の推進を図るため、外部有識者による試験研究課題の外部評価を継続する必要があることから、令和7年度以降も本事務事業を維持する。</p> <p>なお、本事務事業は科学技術振興会議や外部評価制度を適切に運営するものであり、KPIに設定している事前評価件数に対応できる体制は確保できていることから、見直しは想定していない。</p>								